

老朽化した受変電設備の更新により、 災害時等の電力供給機能を確保する

【対策】85 都市公園の老朽化対策

対策概要: 都市公園において事故を防止しつつ、ライフサイクルコストの低減や持続可能な維持管理を実現するため、インフラ長寿命化計画に基づく老朽化対策を進め、予防保全型管理への移行を図る。

府省庁名: 国土交通省

【事例】国営武蔵丘陵森林公園

- 実施主体: 国土交通省関東地方整備局
国営昭和記念公園事務所
- 実施場所: 埼玉県比企郡滑川町
- 事業概要: 国営武蔵丘陵森林公園内に電力供給している受変電設備について、老朽化対策として、設備の更新を実施。
- 事業費: 0.6億円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)0.6億円)
- 効果: 老朽化施設の更新により、信頼性の高い電力供給が可能となり、通常時の園内利用者の快適かつ安全な利用及び、災害時等の円滑な避難誘導や防災拠点としての機能の確保が期待される。

